

博物ふえすていばる！ 7

2021/9/11(土)12(日) ブース A-8



あうるの森

飛ぶ種の模型 キット



「飛ぶ種」の科学工作として「アルソミトラ」や「フタバガキ」がポピュラーです。でも、その科学工作としての取り上げ方が、「種子」としてではなく、「飛ぶおもちゃ」になってしまっているケースがあり、木の実大好き人間として、そのことがちょっと残念でした。

そこで、本物に似ている「アルソミトラ」と「フタバガキ」の模型の工作キットを開発しました。飛ぶ種の模型を作って、「種子には何でこんなにいろんな形があるのかな？」って考えてみてください。

フタバガキの実の模型の作り方… 型紙の太線に沿ってフタバガキの羽を2枚ハサミで切ります。

山折り・谷折りして
↓ 両面テープを貼る。

羽にカールをつけて、
ウッドビーズに貼る。



※両面テープはキットの中に入っています。半分に切って、それぞれの羽に貼ってください。

出来上がったら、投げ上げてみましょう。
くるくる回りながら落ちてきます。

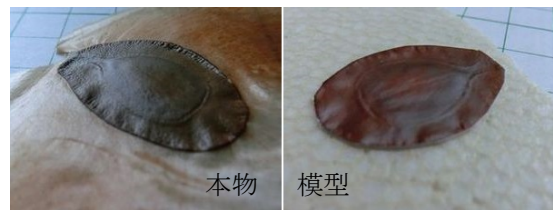


アルソミトラ・マクロカルパの翼果の模型の作り方…

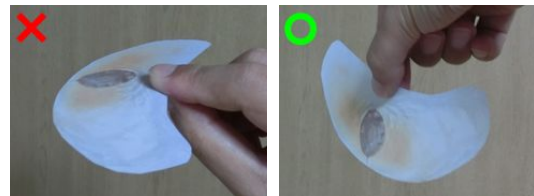
翼果を印刷した紙の裏側に両面テープが付いています。両面テープの剥離紙を剥がして、スチレンペーパーに貼り、太線に沿ってハサミで切ります。



種子の形を印刷した厚紙4枚を種子の輪郭に沿ってハサミで切ります。裏側に両面テープが付いているので、その剥離紙を剥がして、翼果の形に切ったスチレンペーパーの両面に貼ります。切り取った紙の上にスチレンペーパーを重ねると、種子を貼る位置が透けて見えます。



飛ばし方… 飛ばすのではなく、落とします。



本物のアルソミトラの翼果は実から落ちるだけです。水平に前に押し出されたりはしません。



実際に飛んでる動画をみてみよう… フタバガキとアルソミトラの種が実際に飛んでいる動画を、ブログ「あうるの森」の記事の中に載せています。↓こちらのQRコードからアクセスしてご覧ください。または「フタバガキ クルクル」で『フタバガキの実(偽翼果)こんなにいっぱい一斉にクルクル回りながら落ちてくるんだ〜』というタイトルの記事です。

